

消防だより



# 虹のマーチ

2007.6  
第7号

川越地区消防組合



エアゾール式簡易消火具  
の破裂事故に注意：2  
おしらせ：3  
給油中の「吹きこぼれ」に注意：4  
消防の数字：4

認定救命士が訓練用人形を使用している  
気管挿管訓練の様子

## ●認定救命士を養成しています

平成三年八月十五日、救急救命士法が施行され、当組合第一号の救急救命士が平成四年に誕生しました。救急救命士とは、救急に関して高度な知識と技術を有し、心肺機能が停止した方に対して高度な救命処置（救急救命処置）を行うことができる救急隊員をいいます。

さらに、一定の講習と病院実習を修了した認定救命士は、平成十六年七月から気管挿管（空気の通り道である気管に特定のチューブを挿入し空気の通り道を確保すること）、平成十八年四月には、薬剤投与（静脈に点滴をし、そこから血圧を上げるなどの作用を持つ薬剤を投与すること）がホットライン（医師直通電話）による医師の指示のもとに行えるようになりました。

現在、川越地区消防組合に五十一人いる救急救命士のうち七人の認定救命士が現場で活動しています。

今後も、気管挿管、薬剤投与が実施できる認定救命士を養成し、また、救急想定訓練を実施するなど救急隊員の資質の向上を図るとともに救命率の向上を図ります。

また、救急現場に居合わせた方の勇気ある行動が尊い命を救うこととなります。119番通報してから、現場に救急車が到着するまで、およそ六分といわれています。その六分間に迅速な救命活動を行うことにより救命率は格段に高まります。

当組合では、AED（停止した心臓に電気ショックを与える機械）の使用方法を含めた救命講習を実施しています。

問い合わせ

消防局救急課

TEL 222-0160

川越地区消防組合

## 救急車の適性利用を お願いします

近年、救急出動件数は、年々、増加傾向にあります。昨年中の搬送人員は一万二千八百二十三人で、一日あたり約三十五人になります。そのうち、約53パーセントにあたる六千八百四十五人が医療機関で処置を受けたあと、すぐ帰宅できる軽症者でした。

当組合では、現在八台の救急車が配置され、これらの救急需要に対応しています。このままでの推移で救急件数が増加し続けると、一分一秒を争う重症者への対応が遅れてしまう可能性があります。

一刻も早い治療が必要な方のために、軽い腹痛や歯痛など緊急性がない場合で、タクシーや自家用車で医療機関に行けるときは、救急車の利用を控えてください。なお、夜間の場合や診療科目などの問い合わせにも応じています。

消防局指揮統制課 TEL 222-0700

## 住宅用火災警報器をPRしました

四月二十九日に川島町健康福祉まつり、五月十三日には川越市ふれあい福祉まつりにおいて、住宅用火災警報器についての普及啓発活動を行いました。

その際、アンケート調査を行ったところ、約65パーセントの方が住宅用火災警報器を知っていました。そのうち、約24

パーセントの世帯で警報器を設置しているということがわかりました。

住宅用火災警報器はすべての一般住宅に設置する必要があります。火災から尊い命を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。



川越市ふれあい福祉まつりでの住宅用火災警報器普及活動の様子

来場者からは、多くの質問が寄せられ、関心の高さがうかがえました。その中でいくつか紹介します。



問い合わせ

消防局予防課

TEL 222-0744

質問	答え
どこに設置するの？	寝室や階段に設置してください
取り付けは難しくないの？	ネジで簡単に取り付けられます
どのくらい使えるの？	電池式で、10年使用できるものがあります

## エアゾール式簡易消火具の破裂事故に注意

二〇〇五年十月までに品質保証期間が過ぎたヤマトプロテック社製エアゾール式簡易消火具の一部に、製造工程上の不具合が原因で設置環境によっては缶内面に腐食が起り、液漏れや亀裂・破裂の可能性がある事が判明し、現在、同社による自主回収および無償交換が行われています。

まだ回収されずに残されている消火具が多数あるものと考えられます。ご家庭にあるエアゾール式簡易消火具の確認をお願いします。

対象商品は、左表のとおりで、缶の底に品質保証期間が表示されています。詳しいことについては、同社にお尋ねください。

ヤマトプロテック社 お客様相談窓口

TEL 0120-801084 (フリーダイヤル)

受付時間：月～金曜日(祝日・休日を除く)午前9時～午後5時

ホームページ

<http://www.yamatoprotec.co.jp/important.html>

### 【FMボーイK】

製造ロット番号	品質保証期間
KN301	2005.02
KN322	2005.02
KD319	2005.03
K1425	2005.04
K2408	2005.05
K2421	2005.05
K3406	2005.06
K3418	2005.06
K4423	2005.07
K7425	2005.10



### 【ヤマトボーイKT】

製造ロット番号	品質保証期間
K0331	2005.01
KN326	2005.02
KD317	2005.03
K1426	2005.04
K2407	2005.05
K2420	2005.05
K3407	2005.06
K3419	2005.06
K4422	2005.07
K7424	2005.10



人命救助に貢献ありがとうございました

◎昨年十二月二十一日、川島町上伊草で女性が用水路に転落したのを発見し、迅速な救助活動と救急要請で人命救助された次の皆さんに一月十六日、消防局長から感謝状を贈りました。

川島町安塚 遠山武司さん

同町吹塚 道祖土康明さん

同町吹塚 道祖土和子さん

同町上伊草 富田国治さん

◎三月三十日、川越市下赤坂で発生した火災で、二階ベランダで助けを求めている女性がいるのを、迅速な救助活動で人命救助された同市下赤坂の高橋照夫さんに四月十六日、消防局長から感謝状を贈りました。

消防防災機器の開発・改良で受賞

川越地区消防組合では、消防防災機器の開発・改良を行っています。

三月八日、独立行政法人消防研究所主催の「消防防災機器の開発・改良及び消防防災科学論文」で、川越中央消防署の金子亮一消防士長の「頸椎固定器具の改良」が優秀賞を受賞し、消防庁長官から表彰されました。

頸椎固定器具は交通事故などの救助現場で使用される首やあごを固定する器具で、今回改良したものは、装着したまま首やあごの観察ができ、気道確保もできることが評価されました。

今後さらに、開発・改良を行い、当組合管内の皆さんの生命を守っていきます。

消防車両紹介シリーズ⑤

化学車

大型ボディーに水と消火薬液の2つの水槽を備え、水と消火薬液を混合することにより、水だけでは消火することができない油脂火災や化学災害などの特殊火災に立ち向かう消防車です。

通常の消防ポンプ車に比べ、より危険な災害に出動する化学車は、耐熱防護服や消火薬液を泡状にして放射する特殊なノズルなどを装備しています。



【所有台数】 3台

【配置 署】 川越北消防署・川越中央消防署・大東分署

情報公開制度が始まります。

川越地区消防組合では、十月一日(月)から情報公開制度を実施します。

この制度は、住民の皆さんの請求を受け、同組合が持っている情報(公文書)を公開する制度です。この制度を通じて、住民の皆さんが積極的に同組合の情報を知ることにより、いっそう開かれた組合行政を進めていくことを目指しています。

公開の請求ができる方

川越市または川島町内に在住・在勤・在学している方

公開の対象となる公文書

同組合が平成十九年十月一日以降に作成又は取得した公文書です。

公開の費用

公文書の閲覧は無料です。公文書の写しや郵送を希望する場合は、その実費を負担してください。

消防団員を募集しています。

川越市消防団および川島町消防団では、消防団員を随時募集しています。

また、川越市消防団では、火災予防や救急指導などの啓発活動を行う女性消防団員も募集しています。

消防団員は、非常勤の特別職地方公務員です。報酬や出動手当が支給され、公務災害補償を受けることができます。

川越市・川島町に在住している十八歳以上で組合条例に定める欠格事項に該当しない方が対象です。詳しくは、消防局総務課にお尋ねください。

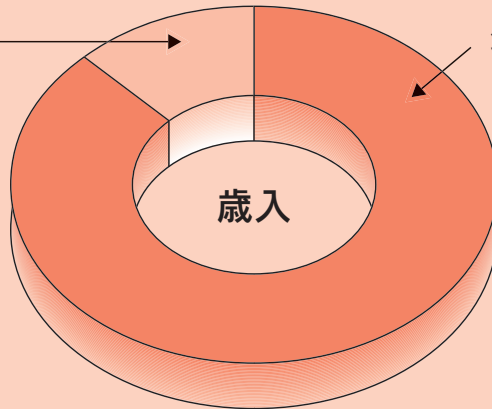
問い合わせ

消防局総務課 TEL 222-10741

ホームページ <http://www.119kawagoechiku.jp/>

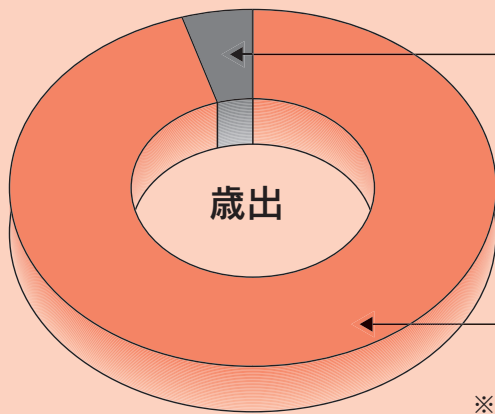
2007年度全国統一防火標語「火は見てる あなたが離れる その時を」

国・県支出金  
 (国) 12,654,000円 (0.3%)  
 (県) 1,000円 (0.0%)  
 組合債  
 (消防施設等の整備にかかる借入金等)  
 498,000,000円 (9.9%)  
 繰越金  
 80,000,000円 (1.6%)  
 諸収入  
 (受託収入等)  
 20,597,000円 (0.4%)  
 使用料および手数料  
 (消防関係検査等の手数料等)  
 4,652,000円 (0.1%)  
 財産収入  
 (基金運用の利子等)  
 1,947,000円 (0.0%)



負担金  
 (構成市町からの負担金)  
 4,408,828,000円  
 (87.7%)

平成19年度当初予算 50億2,667万9千円



公債費  
 (長期債の元金および利子)  
 221,580,000円 (4.4%)  
 議会費  
 (議員報酬等の議会運営費)  
 6,237,000円 (0.1%)  
 総務費  
 (特別職・公平委員・監査委員の報酬等の経費)  
 3,668,000円 (0.1%)  
 予備費  
 4,500,000円 (0.1%)  
 消防費 (消防活動等に必要経費)  
 4,790,694,000円 (95.3%)

※比率(%)の合計は端数処理の関係で必ずしも100%にならないことがあります。

【負担金】

消防行政を運営するうえで必要な主な財源は、組合を構成する川越市と川島町からの負担金です。

平成十九年度予算

☆給油中の「吹きこぼれ」に注意☆

川越地区消防組合管内には、ドライバーみずから燃料を給油するセルフスタンドが二十四か所あります。これらのセルフスタンドを利用されている方も多いと思います。

最近、石油連盟など関係四団体が給油中に燃料があふれ出る「吹きこぼれ」について、その実態を報告しました。報告によると、四百四十か所のセルフスタンドを調査したところ、約96パーセントで吹きこぼれが発生。その多くの原因が、「オートストップ（満量停止装置）作動後の継ぎ足し給油」、「小流量の給油でオートストップが作動しなかった」などであることがわかりました。

給油中に燃料が吹きこぼれ、引火した場合には、広範囲に被害が及ぶことが考えられます。

セルフスタンドで給油する際は、次の点にご注意ください。

- ◎ 給油キャップ開放時は、静電気除去シートに触れること
- ◎ 給油ノズルを止まるところまで確実に差し込む
- ◎ 給油ノズルのレバーを止まるところまで確実に引く
- ◎ 自動的に給油が止まったら、それ以上の給油はしない
- ◎ 給油後は、給油ノズルを確実に元の位置に戻す

消防だより

虹のマーチ

2007.6  
第7号

□発行/川越地区消防局 総務課  
 〒350-0823川越市神明町48-4 TEL 049-222-0700  
<http://www.119kawagoechochiku.jp/>  
 消防テレホンサービス/TEL 223-0700  
 \*かけまちがいにご注意ください。

消防の数字? 3分

さて、何の時間でしょう?  
 これは、心臓停止後約50%の傷病者が死亡してしまう時間(注)です。救急車が現場に到着するのに全国平均約6分かかります。現場に居合わせた方の協力をお願いします。

注:救急専門医カーラーの救命曲線から



火事・救急・救助は119番